



21世紀減災社会シンポジウム

阪神・淡路大震災30年

～「大災害の時代」へ継承すべきこと

2025年1月に阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。
阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」、防災報道を重視してきた「朝日新聞社」、兵庫県の地域報道を担う「神戸新聞社」は連携して震災後30年の歩みを振り返るとともに能登半島での災害対応に生かされた教訓と今なお残る課題を考察します。

写真提供：神戸新聞社

日時

令和7年2月8日(土)

13:30～17:00

場所

神戸朝日ホール

(神戸市中央区浪花町59)

+YouTube
ライブ配信

プログラム

開会挨拶 13:30～13:45 朝日新聞社、神戸新聞社、兵庫県

基調講演 13:45～14:45

被災地からの報告 14:45～15:00



「大震災30年～震災を振り返り、
これからの災害に立ち向かう」

むろさき よしてる
室崎 益輝 (神戸大学名誉教授)



「能登半島地震から1年
～現地からの報告」

うえだ まゆみ
上田 真由美 (朝日新聞社金沢総局記者)

パネルディスカッション 15:10～17:00

テーマ 「能登へ、南海トラフへ～新たな世代が引き継ぐ教訓と課題」

パネリスト



さかもと まゆみ
阪本 真由美

(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)



かどわき ゆきこ
門脇 幸子

(兵庫県教育委員会震災・学校支援チーム EARTHメンバー/
西宮市立浜脇小学校栄養教諭)



よりまさ りょうた
頼政 良太

(被災地NGO協働センター代表/関西学院大学人間福祉学部助教)



ながぬま たかゆき
長沼 隆之

(神戸新聞社論説委員室副委員長)

パネルディスカッション・コーディネーター



みくりや たかし
御厨 貴

(ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長/東京大学名誉教授)

参加無料

事前申込が必要です

裏面のQRコードまたは
URLから申込をお願いします。

来場申込

参加無料、先着150名

(定員に達し次第、受付を終了します)

会場に来られる方は下記QRコードを読み込み、「来場申込フォーム」からお申し込みください。

来場申込URL : <https://forms.gle/nLcvMWwN6tis75MR6>



来場用QRコード



視聴申込

オンライン視聴をされる方は下記QRコードを読み込み、「視聴申込フォーム」からお申し込みください。

※当日ライブより2月14日まで視聴可能。

視聴申込URL : <https://forms.gle/P4FMQG5F93XS147q6>



視聴用QRコード

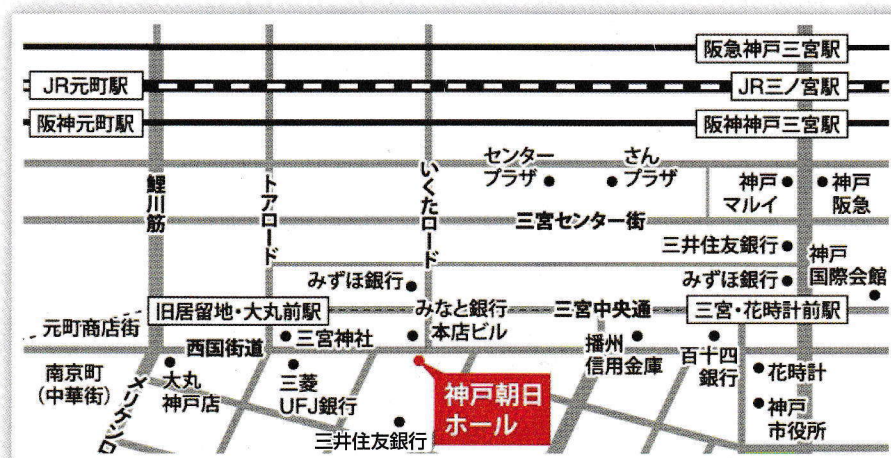


申込期限

2月6日木

※入力いただいた個人情報等は、事務局で適正に管理し、ご案内に関してのみ使用いたします。

会場案内



◆JR三ノ宮駅から徒歩10分

◆JR元町駅から徒歩8分

問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122 E-mail : gakujutsu@dri.ne.jp

(主催) 朝日新聞社、ひょうご震災記念21世紀研究機構 (共催) 神戸新聞社

(後援) 内閣府政策統括官(防災担当)、総務省消防庁、兵庫県、神戸市、関西広域連合